

除菌作用試験


ノロウイルスに対する除菌作用試験

- 検体材料 糞便由来ノロウイルス(Norovirus) (NV 遺伝子 2 群に属するもの)
- 検証検体 PCK シリーズ ノロライザ

検証試験結果報告書

分析結果

実験内容 : ノロウイルスに対する殺菌効果の検証
 検体 No. : ①
 検体名 : ノロライザ
 検査方法 : RT-PCR法
 受付日 : 平成18年12月18日



電気泳動写真
(ノロウイルス陽性の場合は344bpの位置にバンドが出現)

検証項目	結果
① 対照区 (ノロウイルス懸濁液)	陽性 (+)
② 対照区 (水道水添加処理)	陽性 (+)
③ 試験区 (ノロライザ添加処理)	陰性 (-)
④ 試験区 (ノロライザ添加処理)	陰性 (-)

試験区 (ノロライザ添加処理) ではノロウイルス遺伝子が検出されなかった。よって、ノロライザにはノロウイルスに対する殺菌効果があると考えられる。

<※試験の詳細は別紙参照>

分析機関; 農林水産省受託検査機関

写真番号	検証検体の内容
①	ノロウイルス懸濁液 (200 μl)
②	水道水添加処理区 (ノロウイルス懸濁液 50 μl + 水道水 150 μl)
③, ④	ノロライザ添加処理区 (ノロウイルス懸濁液 50 μl + ノロライザ溶液 150 μl)

- <備考>
- ・ 試験の精度保障として1検体につき2試験区の並行検査を実施した。
 - ・ ②~④での各添加処理時間は全て10分間とした。

<試験の流れ>

